

取付説明書

7V型ワイドVGAモニター 2DIN AVシステム
地上デジタルTV/DVD/CD内蔵 SDカーナビステーション



品番 CN-R300D



品番 CN-R300WD



取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

販売店様へのお願い

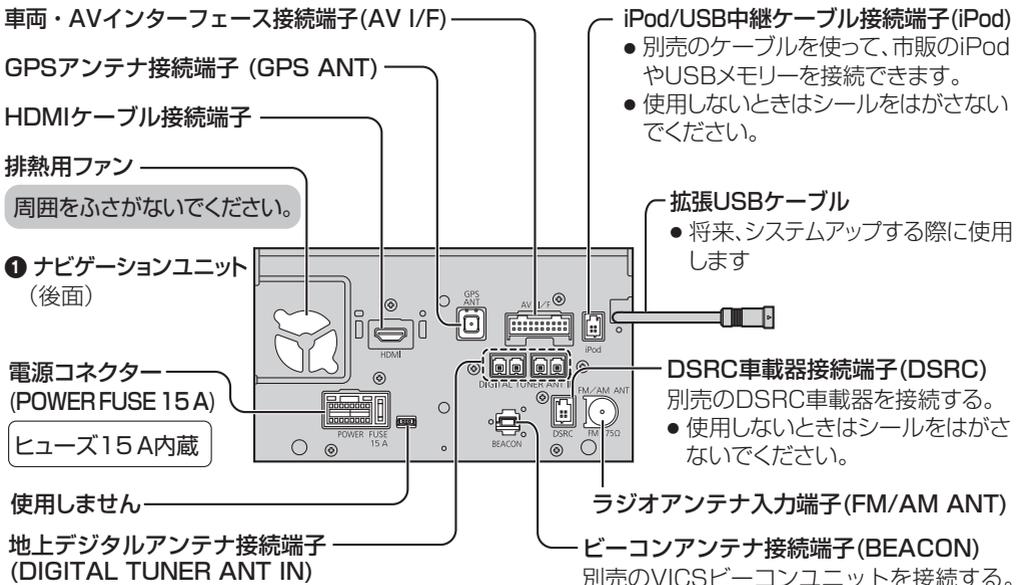
- 取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
配線についての詳細は「配線のしかた」をご覧ください。(P.5～10)



内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、
お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量	
		R300	R300W
ナビゲーションユニット関係			
1	ナビゲーションユニット	1	1
	地図SDHCメモリーカード (お買い上げ時にモニター 底面へ挿入済み)	1	1
2	座付きねじ (M5 × 6 mm)	6	8
3	皿ねじ (M5 × 6 mm)	8	—
4	スペーサー/両面テープ	各4	各4
GPSアンテナ関係			
5	GPSアンテナ (コード4 m)	1	1
6	コードクランパー	4	4
コード/ケーブル関係			
7	電源コード	1	—
8	車速信号中継コード (桃色: 1.5 m)	1	—
9	車両・AVインター フェースコード	1	—
10	トヨタ車用接続ハーネス	—	1
11	圧着式コネクタ	7	1
12	HDMIケーブル保護カバー※1	1	1
地上デジタルアンテナ関係			
13	地上デジタルアンテナA (紫)	2	2
14	地上デジタルアンテナB (緑)	2	2
15	地上デジタルアンテナ コードA (4 m)	2	2
16	地上デジタルアンテナ コードB (4 m)	2	2
17	コードクランパー	8	8
18	クリーナー	1	1

主な添付品

取扱説明書	1
取付説明書(本書)	1
保証書	1

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
- イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
- 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
- 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。

お知らせ

- 本機は「B-CASカード」を付属しておりません。B-CASカード不要で、地上デジタル放送を視聴できます。

※1 別売のHDMI接続用中継ケーブル(CA-LND200D)接続時に使用します。使用しないときは紛失しないように保管、または、ナビゲーションユニットの後面に取り付けてください。

本書の読みかた

- 機種ごとに仕様異なる場合は、下記のアイコンで区分しています。

R300 : CN-R300D

R300W : CN-R300WD

もくじ

接続端子一覧	表紙	他の機器と組み合わせて使う	16
内容物の確認	2	iPod (iPhone) / USBメモリー	17
取り付け・配線の前に	3	スマートフォン (Drive P@ssを利用する)	18
作業の順序	4	ビデオカメラ	20
配線のしかた	5	2台目のモニター	20
電源コード/車両・AVインターフェース コードの配線 (R300)	6	リヤビューカメラ	20
トヨタ車用接続ハーネスの配線 (R300W)	8	DSRC車載器	21
アンテナコードの配線	10	VICSビーコンユニット	21
GPSアンテナの取り付けかた	10	取り付け・配線の確認	22
地上デジタルアンテナの取り付けかた	11		
ナビゲーションユニットの取り付けかた	14		

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

お願い

- コネクタは確実に差し込んでください。
- 各コードに接続するコネクタが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(→取扱説明書)
- 使用しないコードやコネクタは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。
- 各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)は、電源コード/接続ハーネスとは別々に配線し、本機に接触しないようにしてください。また、余った各種アンテナコードは別々に束ねてください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、映像・音声にノイズが入る原因となります。
- スピーカーは最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーをご使用ください。

作業の順序

1 バッテリーの ⊖端子を外す



2 アンテナや他の機器の 取り付け・配線をする

- 地上デジタルアンテナ
- GPSアンテナ

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

- 他の機器
(別売のVICSPeeユニット、リヤビューカメラなど)

3 各種コード/ケーブルを配線する

R300

- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)があります。

R300W

- トヨタ車・ダイハツ車の場合
付属のトヨタ車専用接続ハーネスで接続してください。
- 上記以外の車の場合
ケーブルキット(別売品:CA-LUK110D)などが必要となる場合があります。

お願い

- ショート事故防止のため、電源コネクタへの接続は、必ず他の配線をすませてから最後に行ってください。

4 ナビゲーションユニットを 車両に取り付ける

5 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、工具を使用してしっかりと締め付けて固定してください。

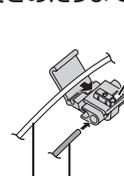
6 取り付け・配線を確認する (P.22)

配線のしかた

■ 圧着式コネクタの取り付けかた

圧着式コネクタは、指定の箇所以外に使用しないでください。

突きあたりまで差し込む



サイドブレーキコードなど

車両側配線コードや
別売のトヨタ車専用アンテナ変換コード

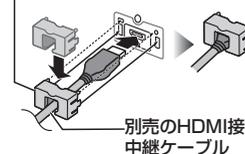
エレメントを
押し込む



■ HDMIケーブル保護カバーの取り付けかた
別売のHDMI接続用中継ケーブル接続時に取り付けてください。

⑫ HDMIケーブル保護カバー

別売のHDMI接続用中継ケーブルを接続後、必ずコネクタへHDMIケーブル保護カバーをかぶせてください。
(外れ防止・コネクタ保護)



●取り外すには

矢印の方向に押しながら
取り外してください。

お願い

- 無理に引っ張ると、破損することがあります。必ず、カバーのロックが解除されていることを確認してから取り外してください。カバーが取り外しにくい場合は、いったん押し込んでから、もう一度取り外してください。

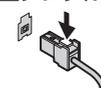
■ ロック付きコードの取り外しかた

矢印の方向に押しながら、取り外す。

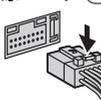
- 無理に引っ張ると破損することがあります。
- 必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。

⑬ 地上デジタルアンテナコードA

⑭ 地上デジタルアンテナコードB



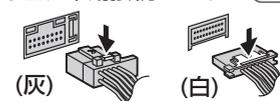
⑦ 電源コード R300



⑨ 車両・AVインターフェースコード R300



⑩ トヨタ車専用接続ハーネス R300W

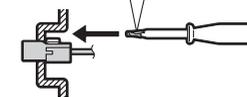


⑤ GPSアンテナのコード

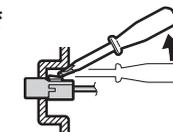
1 ⊖ドライバーを、コネクタのロックの上の隙間に、奥まで差し込む。

コネクタを傷つけないように、先端にテープを巻いてください。

断面図

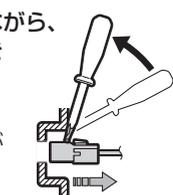


2 ⊖ドライバーで ロックを押す。



3 ロックを押しながら、 ⊖ドライバーを 矢印の方向に 引き上げる。

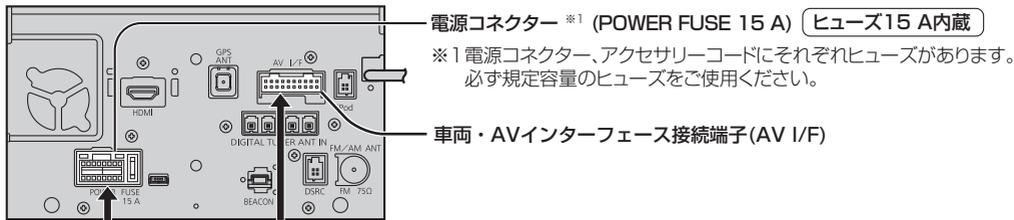
- コネクタが外れます。



配線のしかた(続き)

電源コード/車両・AVインターフェースコードの配線 R300

1 ナビゲーションユニット(後面)

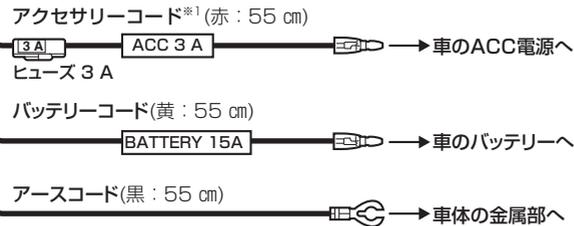


(灰) (白)

② 車両・AVインターフェースコード

全ての配線が完了し、接続を確認したあとに差し込んでください。

7 電源コード



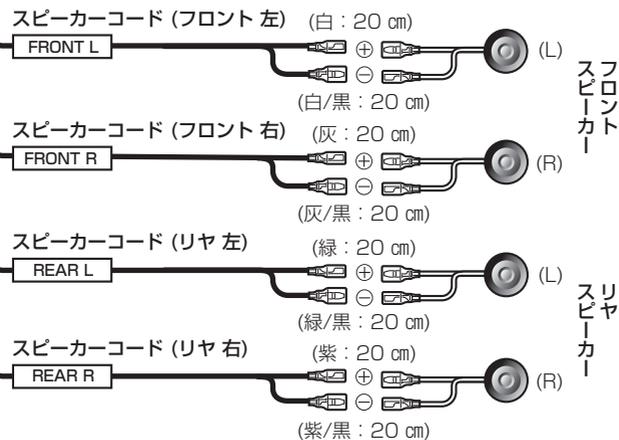
エンジンスイッチにACCポジションがない場合は、バッテリー上がりの原因となるため、お買い上げの販売店にご相談ください。

常時電源が供給されている端子へ接続してください。

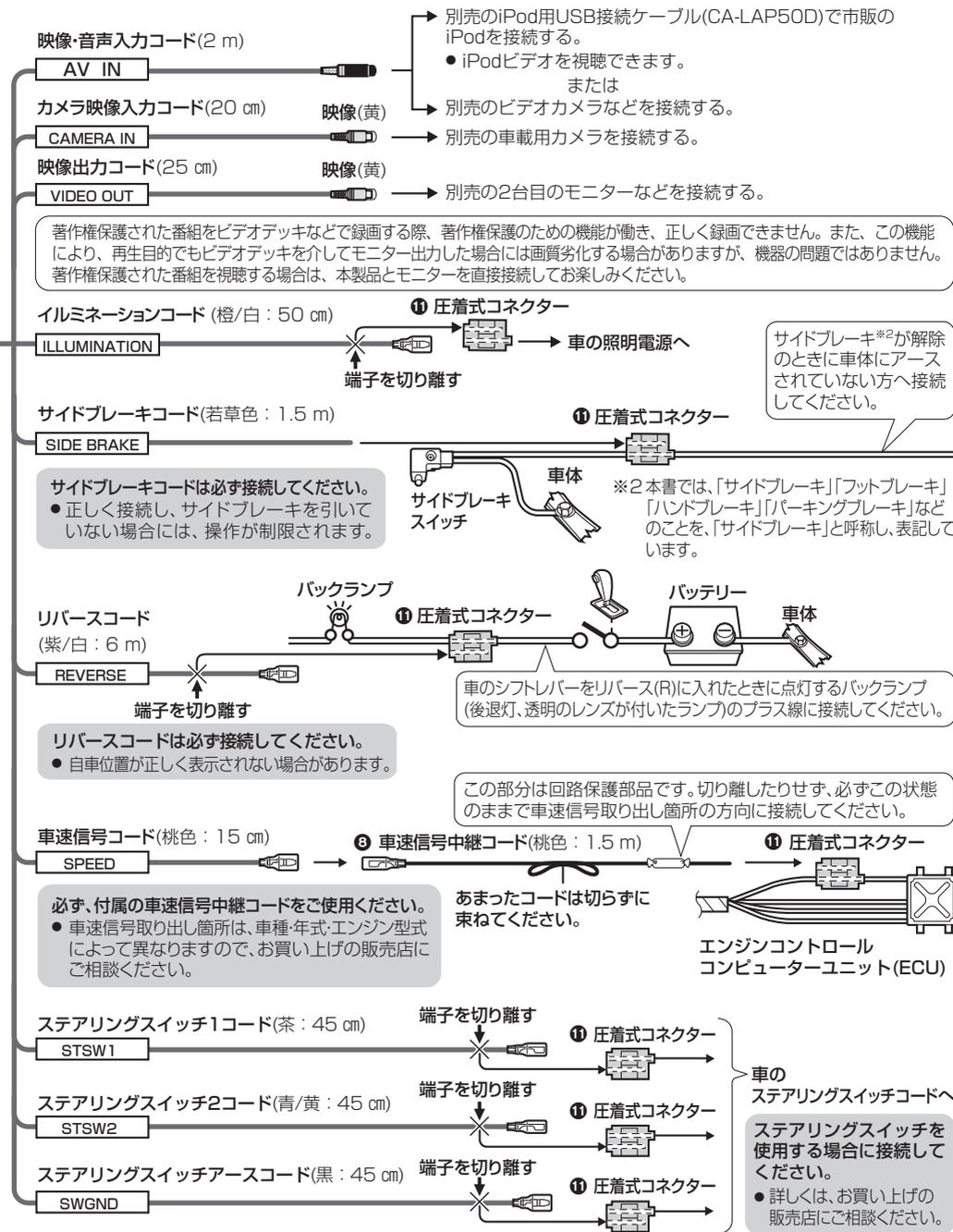
塗装などが施されていない金属地が露出している箇所に接続してください。



モーターアンテナ車の設定をしてください。(→P.22 「取り付け・配線の確認」)

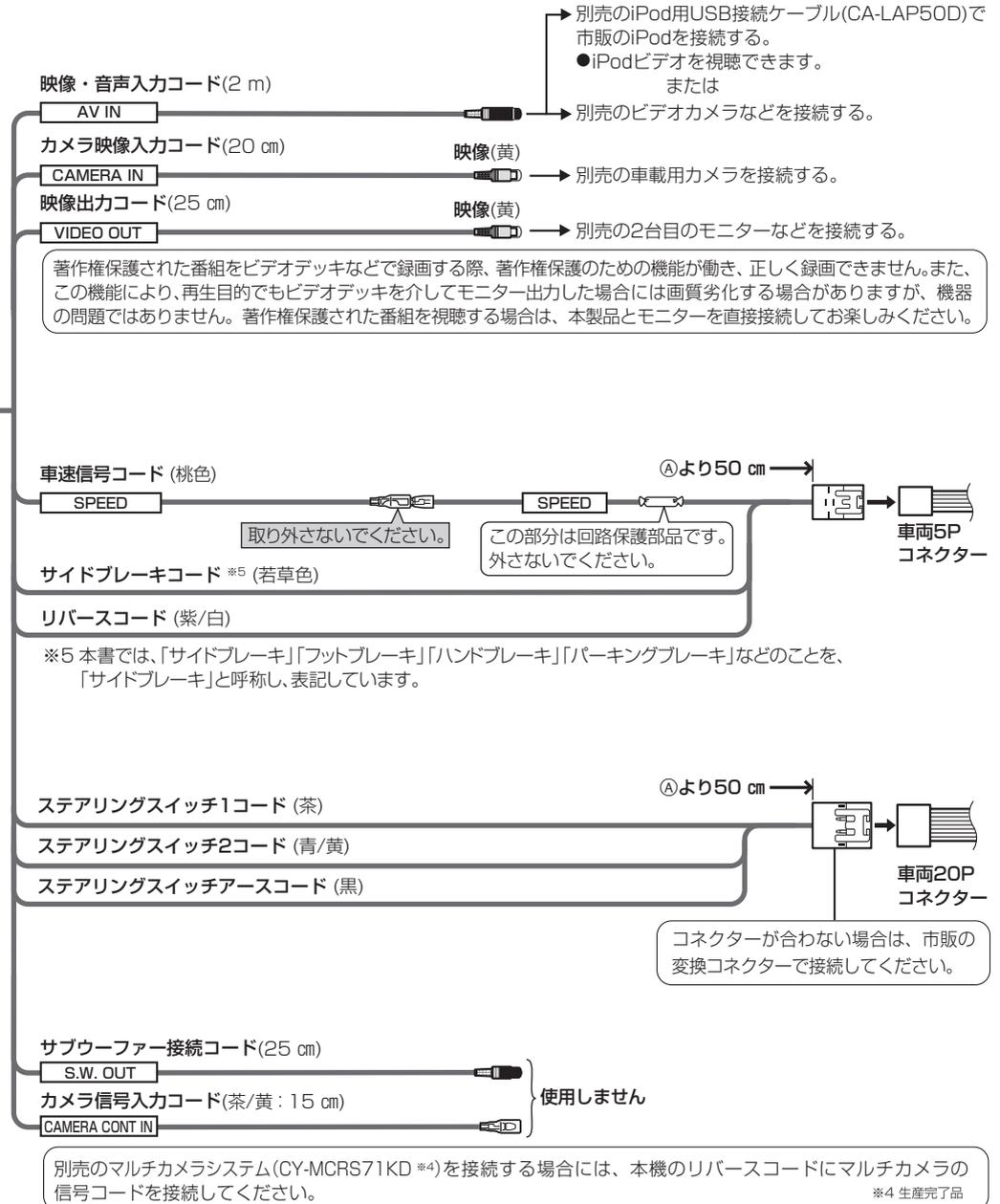
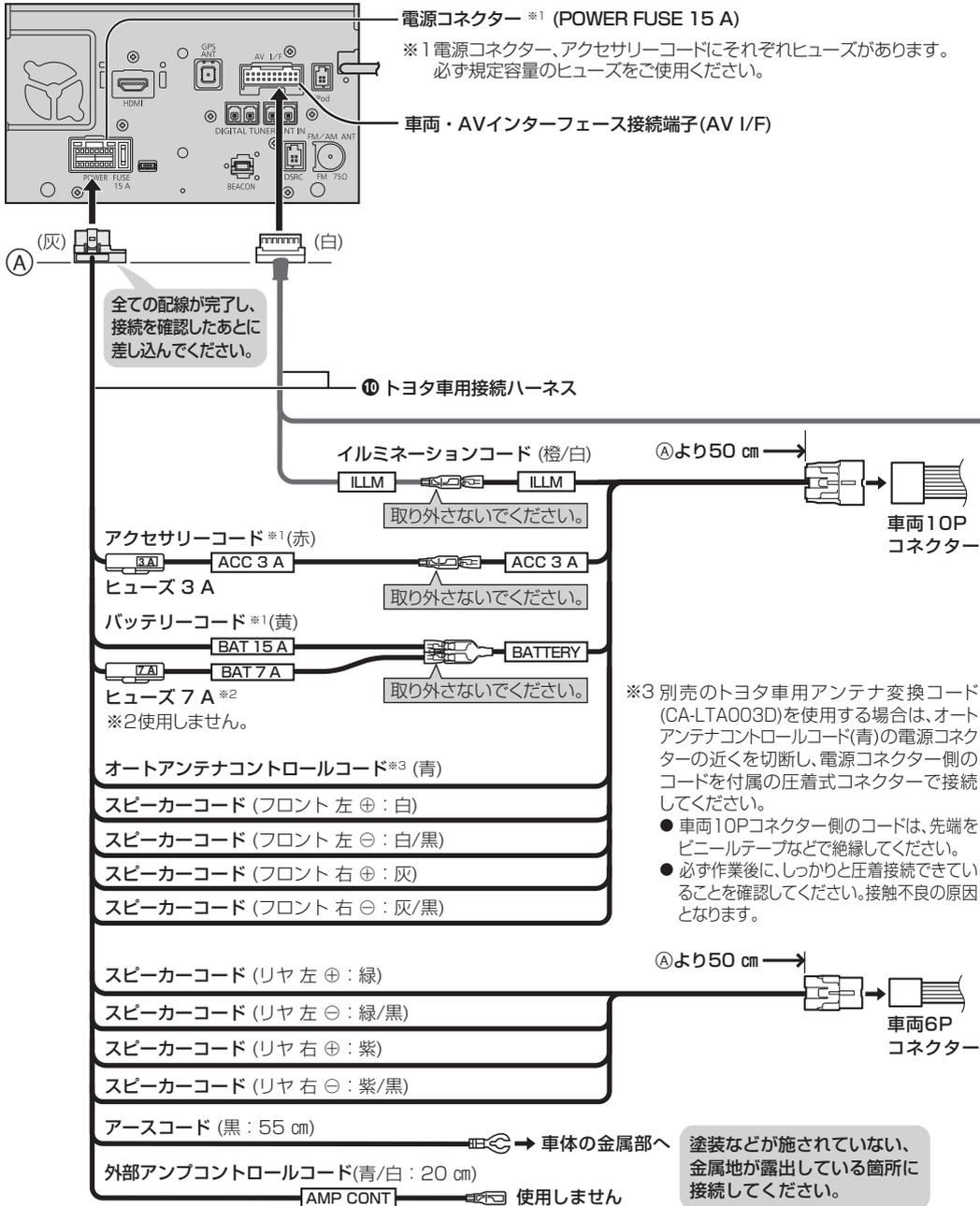


スピーカーコードは、各スピーカーへ正しく接続してください。スピーカー破損の原因となります。



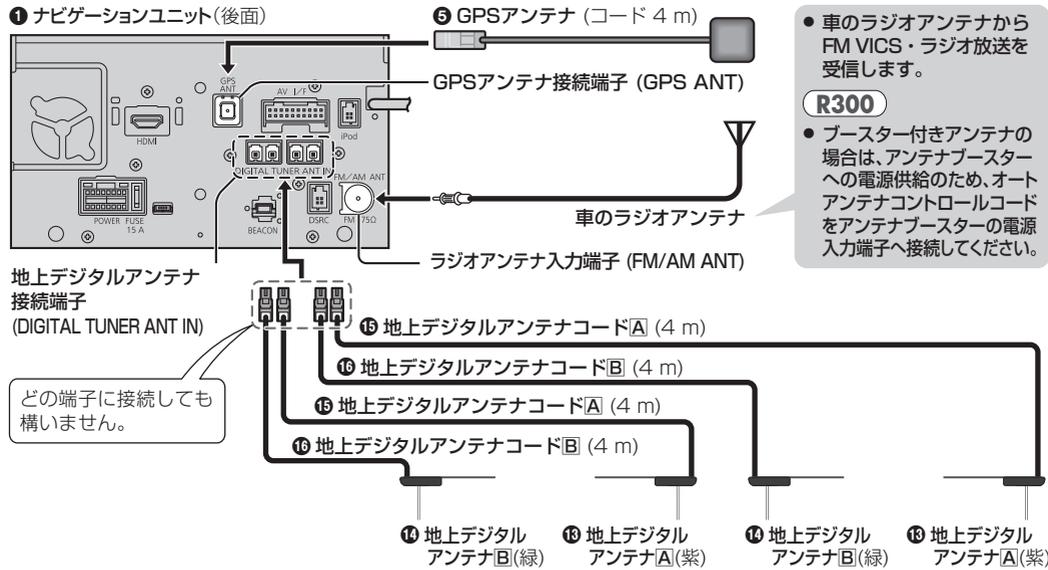
トヨタ車用接続ハーネスの配線 (R300W)

① ナビゲーションユニット(後面)



配線のしかた(続き)

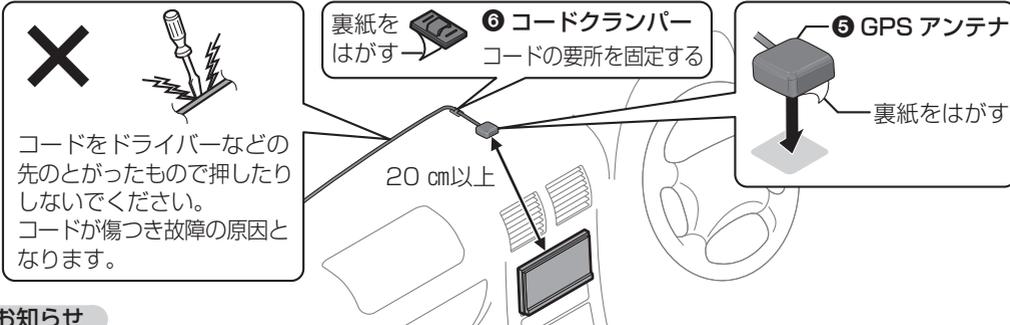
アンテナコードの配線



GPSアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、VICSビーコンユニット(別売)や他のアンテナから、15 cm以上離して取り付けください。また、それぞれのコードは別々に(引き回しを左右別方向にするなど)配線してください。
- 必ず車室内(ダッシュボード上のガラス付近)に取り付けてください。
防水構造ではありませんので、車外には取り付けないでください。



お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。(→取扱説明書)
- 受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを移動して、受信状態の良い場所に設置しなおしてください。(P.22)

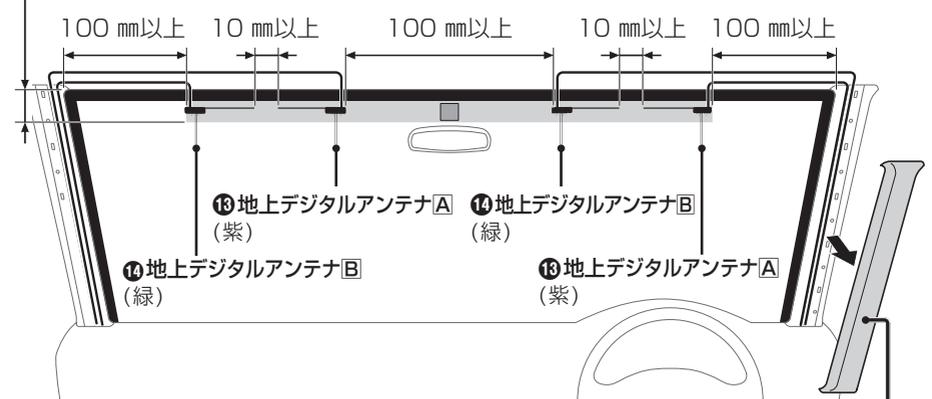
地上デジタルアンテナの取り付けかた

アンテナの貼り付け位置について

- 必ず車室内(フロントガラス)に貼り付けてください。
サイドガラスやリヤガラスには貼らないでください。十分な受信状態が得られません。
- 性能を十分に発揮するために、必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。
指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 国土交通省の定める保安基準*1に適合させるため、アンテナの給電部およびコードの端子は、必ず取付許容範囲内(下図の■部)に貼り付けてください。
*1 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

取付許容範囲: ■部

アンテナの給電部をフロントガラスの上端から25 mm以内に貼り付けてください。セラミックライン(黒い線)の上にも貼り付けられます。



ピラーのカバーを取り外す

- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

- ❌ 下記のような貼り付けは、絶対にしないでください。
- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
 - アンテナの性能を十分に発揮できません。

アンテナの
A/Bを逆に貼らない
点検シールなどに
重ねて貼らない
重なった位置に
貼らない
アンテナの給電部および
コードの端子は取付許容
範囲外に貼らない



地上デジタルアンテナの取り付けかた(続き)

取り付ける前に

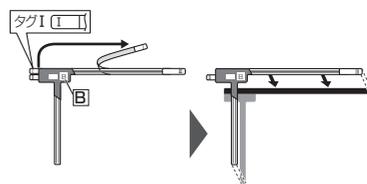
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでフロントガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。
- 糊面や給電部に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他のアンテナから20cm以上離して貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

フロントガラスにアンテナを貼り付ける

地上デジタルアンテナB(緑)を例に説明しています。A(紫)も左右対称にして同様に貼り付けてください。必ず指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

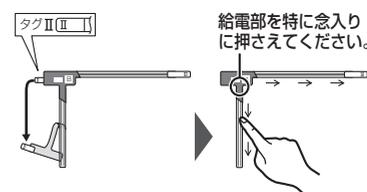
1 タグⅠを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因となります。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



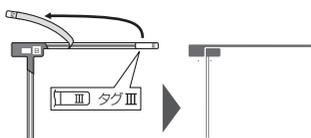
2 タグⅡを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラスに密着していることを確認してください。



3 タグⅢを持って、フィルムをゆっくりとはがす

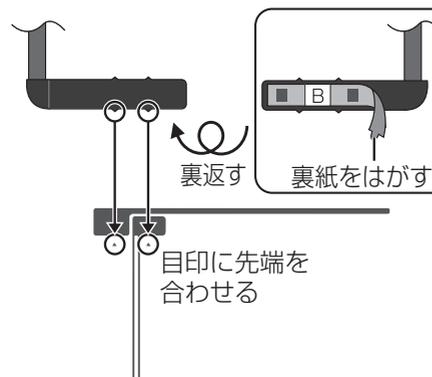
- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。



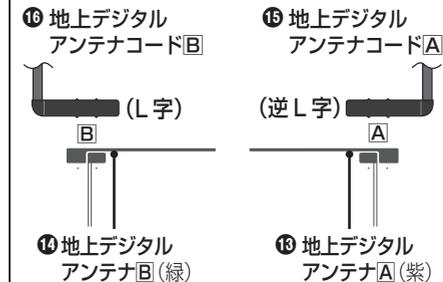
4 他の3枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを貼り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける



同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。



2 コードを引き回す

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。TVの音声に雑音が入る原因となります。



アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフィングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

⑦ コードクランパー コードの要所を固定する



3 他の3本も同様に貼り付ける

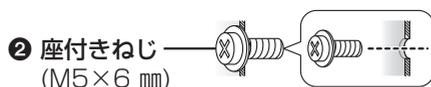
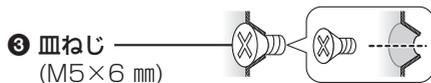
4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する (→P.10「アンテナコードの配線」)

ナビゲーションユニットの取り付けかた

1 取り付け金具(ブラケット)を取り付ける

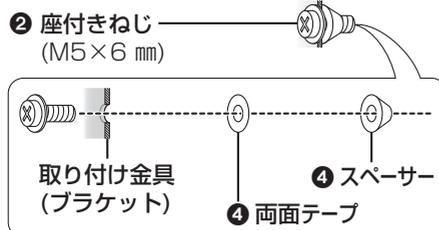
R300

穴の形状に合わせてねじを選んでください



不安定な場合は

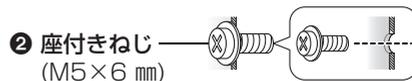
スペーサーを両面テープで、取り付け金具(ブラケット)に貼り付けてください。



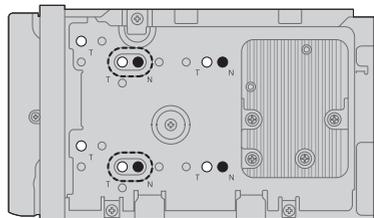
お願い

- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。

R300W



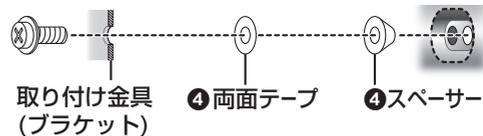
■使用するねじ穴について



- トヨタ車・ダイハツ車の場合
「T」の刻印があるねじ穴(○)のうち、4カ所を選んで取り付けてください。
- 日産車・スバル車の場合
「N」の刻印があるねじ穴(●)に取り付けてください。
- 上記以外の車の場合
お買い上げの販売店にご相談ください。

○部のねじ穴に取り付けるときは

スペーサーを両面テープで、取り付け金具(ブラケット)に貼り付けてください。



2 ナビゲーションユニットをオーディオスペースに取り付ける

R300

■寸法

幅 180 mm×高さ 100 mm (2 DINサイズ)

■角度

水平に対して40°以下

- 取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

R300W

■寸法

開口部: 幅 200 mm×高さ 100 mm
取付部: 幅 180 mm×高さ 100 mm (2 DINサイズ)

■角度

水平に対して40°以下

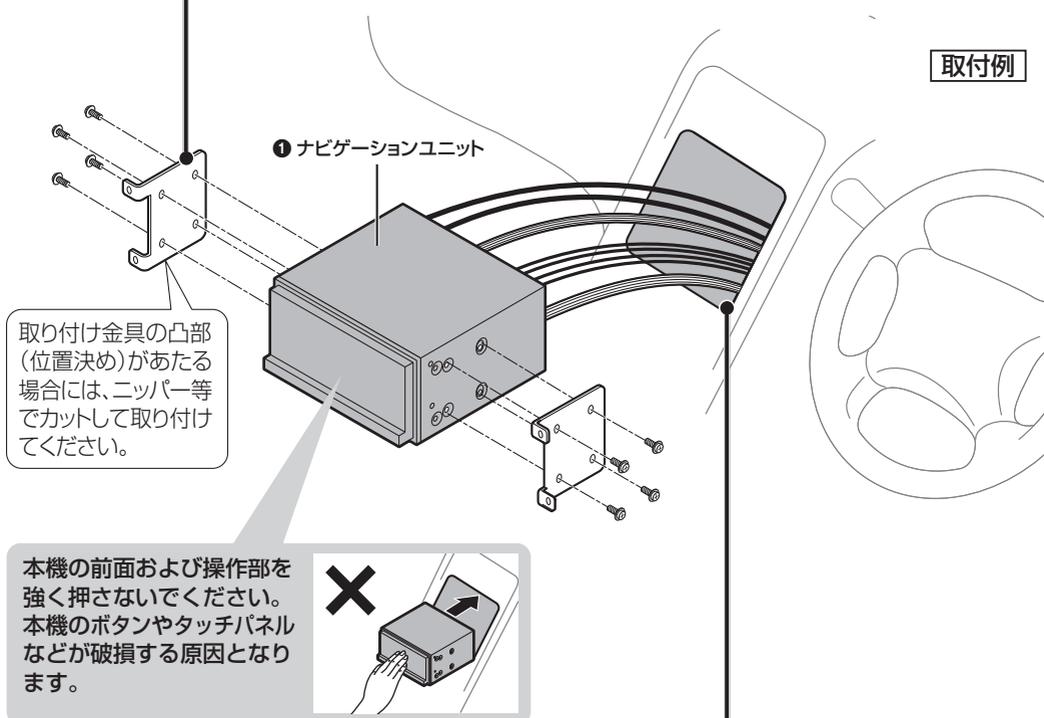
お願い

- オーディオスペースに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因となります。

お知らせ

- オーディオスペースの形状や寸法により取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

- 車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。
- 年式・車種・グレードにより、専用キット(別売)が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。



他の機器と組み合わせて使う

組み合わせる前に

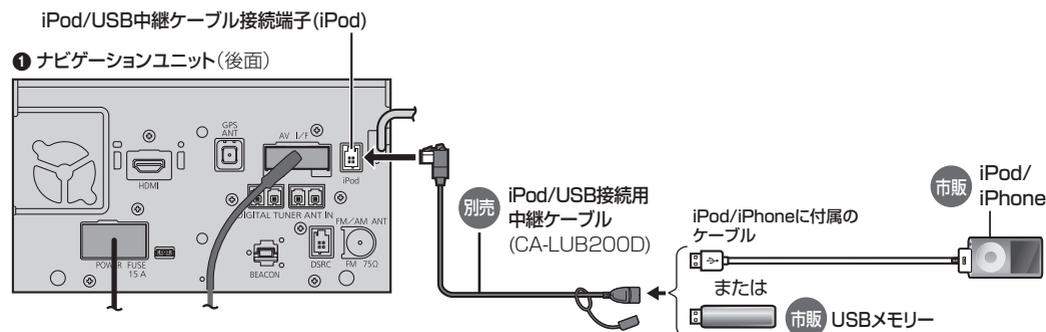
- コネクタは確実に差し込んでください。
- ケーブルやコネクタが足で踏まれたり、運転や乗り降りの妨げにならないように、市販のクランパーやテープなどで要所を固定してください。
- 推奨品以外はご使用になれない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 使いかたについては、取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

■ iPod(P.17)/USBメモリー(P.17)/スマートフォン(P.18)使用時のお願い

- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。
他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPod/スマートフォンは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 運転中に動かないように市販のホルダーなどでしっかり固定してください。
- 固定する際は、エアバッグの動作を妨げないようにしてください。
- 車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 高熱部や車体の金属部、ヒーターの熱風や直射日光を避けて配線してください。
- 使用しないときは必ずコネクタにカバーやキャップをかぶせて保護してください。
- 適合機種については、取扱説明書および当社サイトをご覧ください。

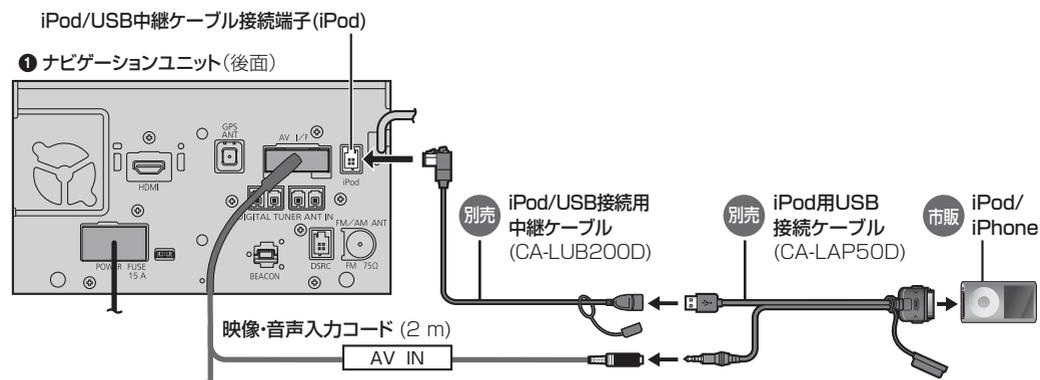
iPod (iPhone) /USBメモリー

iPodミュージック/USBオーディオを再生する場合



- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。
- iPodに付属のUSBケーブルで本機とiPodを接続した場合、iPodビデオを本機で視聴できません。
本機でiPodビデオを視聴するには、別売のiPod用USB接続ケーブル(CA-LAP50D)でiPodを接続してください。他のケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- Drive P@ss利用時の接続方法は→P.18

iPodビデオを再生する場合



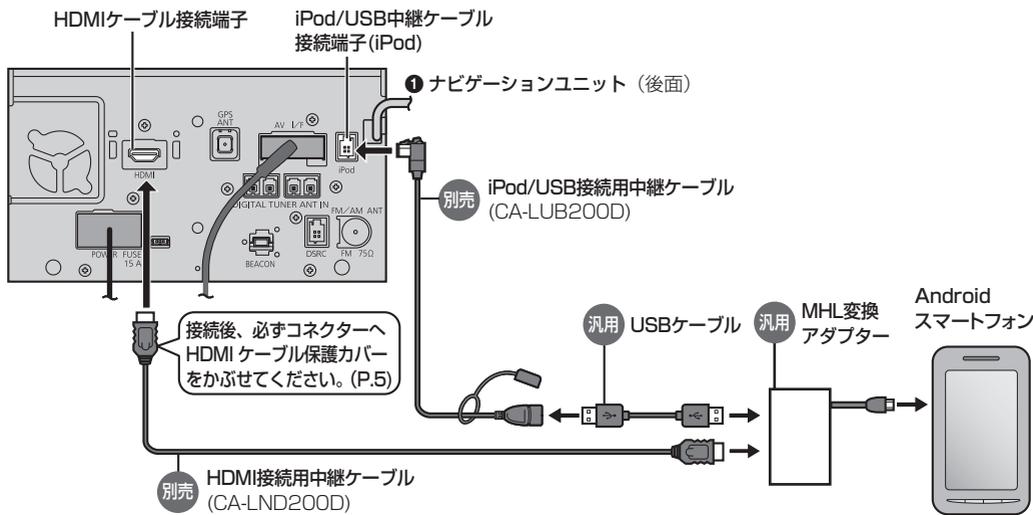
- iPodミュージックも再生できます。
- 映像・音声入力コードでビデオカメラを接続する場合は、同時に接続できません。
- iPhone 5/iPod touch 第5世代/iPod nano 第7世代のiPodビデオ再生には対応していません。
- Drive P@ss利用時の接続方法は→P.18

他の機器と組み合わせて使う(続き)

スマートフォン(Drive P@ssを利用する)

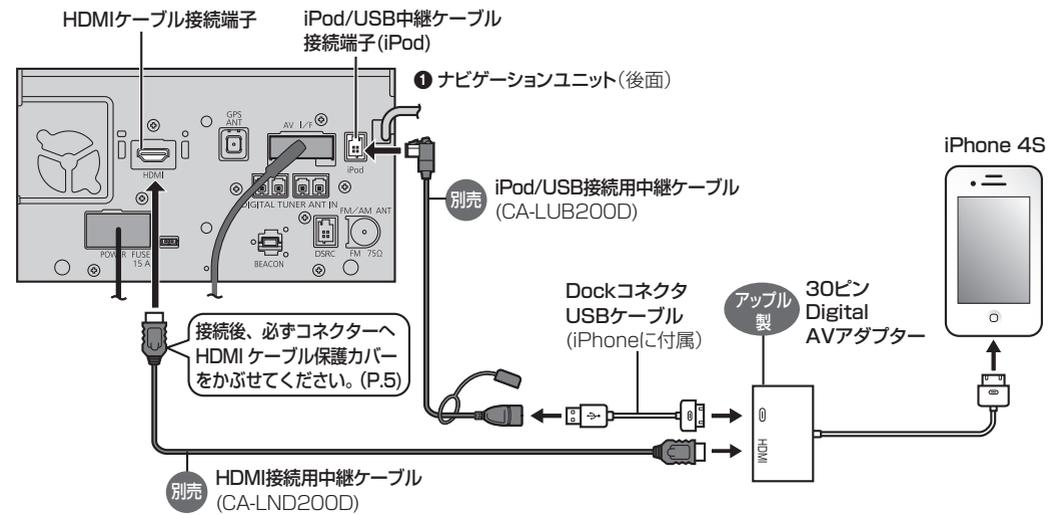
お使いのスマートフォンによって、用意するケーブルや機器が異なります。確認のうえ、ご準備ください。

Androidスマートフォンを接続する場合



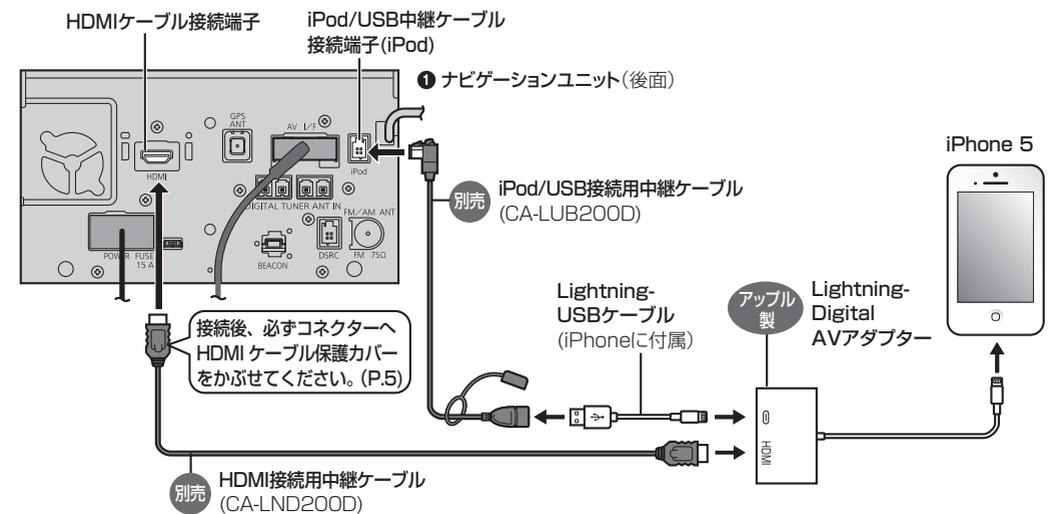
●接続するスマートフォンに適したMHL変換アダプターやUSBケーブルをご使用ください。

iPhone 4 Sを接続する場合



●iPodミュージックも再生できます。

iPhone 5を接続する場合



●Drive P@ssを利用しながらiPodミュージックを再生することはできません。Drive P@ss利用中は、Drive P@ss用のアプリ「Music Player for Drive P@ss」を使ってiPhone内の音楽を再生するか、配線を変えてiPodミュージックを再生してください。(P.17)

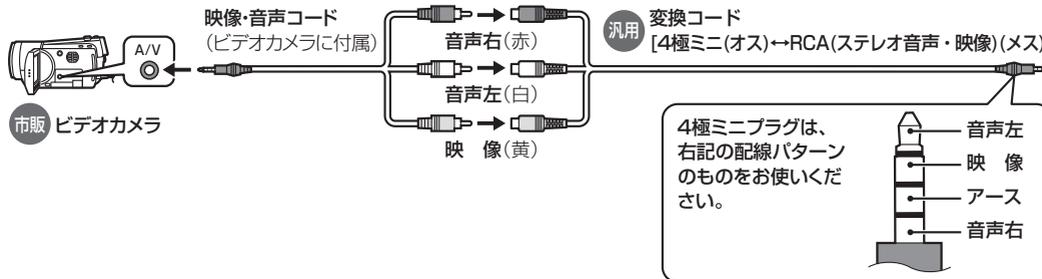
他の機器と組み合わせて使う(続き)

ビデオカメラ

HDMIケーブルで接続する場合



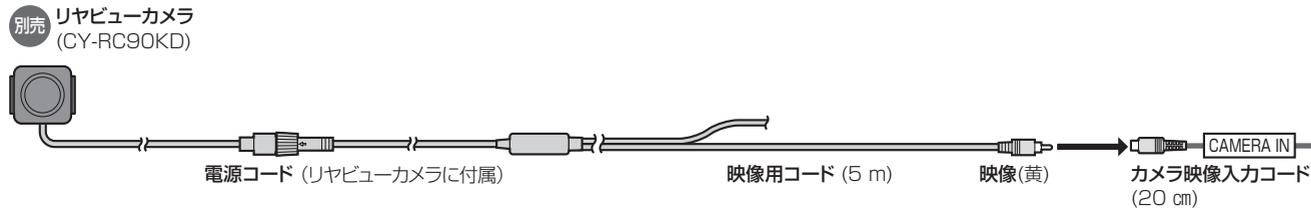
映像・音声入力コードで接続する場合



2台目のモニター



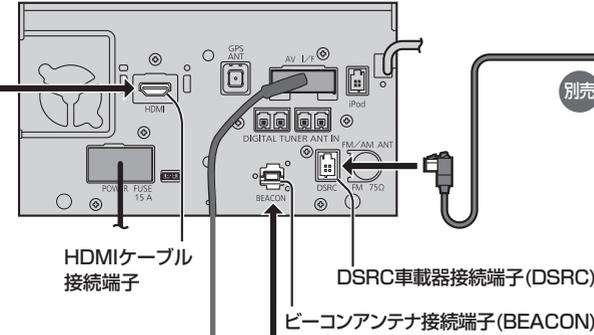
リヤビューカメラ



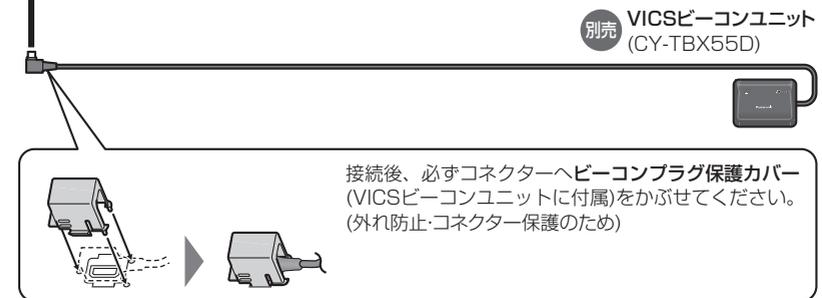
● 別売のマルチカメラシステム(CY-MCRS71KD ※1)を接続する場合は、マルチカメラの信号コードを本機のリバースコードに接続してください。
※1 生産完了品

DSRC 車載器

① ナビゲーションユニット(後面)



VICSビーコンユニット



取り付け・配線の確認

電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)
●本機の電源が入ります。
- 2 警告画面の注意事項を確認して、**確認**を選ぶ
●現在地画面(自車位置)が表示されます。
- 3 見晴らしの良い場所で、**GPSマーク**()を確認する



- GPSマークが表示されないときや、点滅が継続するときは、GPS情報から受信状態を確認してください。(下記)
- 正しい自車位置が表示されていないと、ジャイロ角度補正および3Dセンサー補正が「補正完」になりません。

トップメニューを表示させる

- MENU**を押す
- トップメニューが表示されます。



GPS情報を確認する

- 1 トップメニュー(上記)から、**情報**を選び、**GPS**を選ぶ
- 2 GPS情報を確認する
(点灯の数が多いほど受信状態が良好)

車両信号情報を確認する

- 1 トップメニュー(左記)から、**情報**を選び、**車両情報**を選ぶ
- 2 車両信号情報を確認する
- 3 車速パルスを確認する
1 **パルスリセット**を選ぶ
●車速パルスがリセットされます。
2 現在地画面を表示させ、車両を少し移動させたあと、車速パルスを確認する

販売店様へのお願い

- 以下はお客様にご確認いただくようご依頼ください。
- 4 **学習レベル・ジャイロ角度補正・3Dセンサー補正**を確認する
1 **レベルリセット**、**補正リセット**、**センサーリセット**を選ぶ
●各項目がリセットされます。
2 現在地画面を表示させ、見晴らしの良い場所をしばらく(60分以上)走行したあと、各項目を確認する

拡張ユニット情報を確認する

- 1 トップメニュー(左記)から、**情報**を選び、**拡張ユニット**を選ぶ
- 2 拡張ユニット情報を確認する

車両情報を設定する

- 1 トップメニュー(左記)から、**設定**を選ぶ
- 2 **各種設定**を選び、**その他**を選ぶ
- 3 車両情報設定の**変更する**を選ぶ
- 4 車両情報を設定し、**完了**を選ぶ

リバース	シフトレバーをR(リバース)に入れると、ON表示に変わりますか？
サイドブレーキ	サイドブレーキを引くと、ON表示に変わりますか？
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると、ON表示に変わりますか？
スピード	自車の速度が表示されます。
ACC電圧	約12V(11V～16V)ですか？

車速パルス	走行後、数字が変化していますか？	●リセットすると「0」になります。
学習レベル	走行後、数字が変化していますか？ ●レベルは「4」が最大です。	●リセットすると「0」になります。
ジャイロ角度補正	走行後、「補正完」になっていますか？	●リセットすると「未補正」になります。
3Dセンサー補正	走行後、「補正完」になっていますか？	●リセットすると「未補正」になります。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
・渋滞・停車を頻繁に繰り返す ・右左折が多い ・右左折が極端に少ない ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「車速パルス」「学習レベル」「ジャイロ角度補正」「3Dセンサー補正」をリセットしてください。
・別の車に本機を載せかえた ・タイヤを交換した ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号中継コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

ビーコンユニット	別売のVICSビーコンユニット(CY-TBX55D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
DSRCユニット	別売のDSRC車載器(CY-DSR110D)を接続している場合、ON表示になっていますか？
iPod*1*2	市販のiPodを接続している場合、ON表示になっていますか？
USB-Audio*1	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか？

※1 同時には接続できません。

※2 Drive P@ss接続時は、iPhoneやiPodをiPod/USB接続用中継ケーブルで接続してもON表示になりません。iPhoneやiPodの接続を確認する場合は、Drive P@ss接続を解除してください。

車両情報		モーターアンテナ車												
車種	<table border="0"> <tr> <td>軽</td> <td>: 軽自動車</td> <td>中型</td> <td>: 中型車両</td> </tr> <tr> <td>小型</td> <td>: 小型車両</td> <td>大型</td> <td>: 大型車両</td> </tr> <tr> <td>普通</td> <td>: 普通車両</td> <td>特定</td> <td>: 特定車両</td> </tr> </table> [お買い上げ時の設定: 小型]	軽	: 軽自動車	中型	: 中型車両	小型	: 小型車両	大型	: 大型車両	普通	: 普通車両	特定	: 特定車両	モーターアンテナ車を選ぶごとに、ON/OFFが切り換わります。 [お買い上げ時の設定: OFF] ■モーターアンテナ車の場合*3 ONに設定してください。(インジケーター点灯) ●オーディオのON/OFFに連動してアンテナが伸縮します。
軽	: 軽自動車	中型	: 中型車両											
小型	: 小型車両	大型	: 大型車両											
普通	: 普通車両	特定	: 特定車両											
長さ	<>で設定する	■モーターアンテナ車以外の場合 OFFに設定してください。(インジケーター消灯)												
幅	[お買い上げ時の設定: --- (未設定)]													
高さ														

※3 モーターアンテナ車で本機をお使いになるときの留意点

- オーディオをOFFにするとアンテナが収納されるため、FM-VICS情報が受信できなくなります。
- モーターアンテナ車の設定をOFFにすると、アンテナが伸びたままになりますので、立体駐車場など天井の低い場所に入るときはご注意ください。

パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社
〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地